

本学では、前期末、後期末の年2回、授業評価アンケートを実施しています。
公表データは、全学年、両専攻(現コミ専攻、幼教専攻)を集計したものです。
表中に記載されている数値は全てパーセントです。

2022年度前期

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
(1) 学生自身について				
この授業の目的や到達目標を理解していますか	71	24	4	1
この授業の成績評価基準を理解していますか	77	19	4	0
(2) この授業科目について				
授業のスピードは適切ですか	80	17	3	1
教員の話す声はよく聞き取れますか	82	16	2	0
板書やPowerPointの文字は読みやすいですか	76	19	4	1
配布資料等の教材はよく準備されていますか	80	18	2	1
学生(あなたや他の学生)の質問や発言に適切に回答していますか	81	17	2	0
出欠や遅刻の記録は適切ですか	86	14	1	0
私語・遅刻・途中退室に適切に注意をしていますか	79	19	1	0
講義にメリハリをつけ、学生の集中力が続くよう工夫されていましたか	73	22	5	0
シラバス(授業内容や課題)に沿って、段階的に授業が行われましたか	80	18	2	0
ここを改善したらこの授業はもっと良くなる、と思うことはありますか	2			98
	2時間以上	1～2時間	1時間未満	していない
この授業にあてた予習・復習の勉強時間はどれくらいですか	10	22	33	35

2021年度後期

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
(1) 学生自身について				
この授業の目的や到達目標を理解していますか	71	27	3	0
この授業の成績評価基準を理解していますか	76	20	3	1
(2) この授業科目について				
授業のスピードは適切ですか	79	18	2	0
教員の話す声はよく聞き取れますか	85	13	2	0
板書やPowerPointの文字は読みやすいですか	80	17	3	0
配布資料等の教材はよく準備されていますか	82	15	2	1
学生(あなたや他の学生)の質問や発言に適切に回答していますか	83	14	2	0
出欠や遅刻の記録は適切ですか	86	12	2	0
私語・遅刻・途中退室に適切に注意をしていますか	80	19	1	0
講義にメリハリをつけ、学生の集中力が続くよう工夫されていましたか	73	22	4	0
シラバス(授業内容や課題)に沿って、段階的に授業が行われましたか	84	15	1	0
ここを改善したらこの授業はもっと良くなる、と思うことはありますか	3			97
	2時間以上	1～2時間	1時間未満	していない
この授業にあてた予習・復習の勉強時間はどれくらいですか	12	22	36	30

2021年度前期

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
(1) 学生自身について				
この授業の目的や到達目標を理解していますか	60	34	6	1
この授業の成績評価基準を理解していますか	65	28	6	1
(2) この授業科目について				
授業のスピードは適切ですか	74	23	3	0
教員の話す声はよく聞き取れますか	77	18	3	2
板書やPowerPointの文字は読みやすいですか	76	20	4	1
配布資料等の教材はよく準備されていますか	79	18	2	1
学生(あなたや他の学生)の質問や発言に適切に回答していますか	79	18	3	1
出欠や遅刻の記録は適切ですか	83	15	2	0
私語・遅刻・途中退室に適切に注意をしていますか	73	24	2	1
講義にメリハリをつけ、学生の集中力が続くよう工夫されていましたか	69	24	5	1
シラバス(授業内容や課題)に沿って、段階的に授業が行われましたか	82	17	1	1
ここを改善したらこの授業はもっと良くなる、と思うことはありますか	3			97
	2時間以上	1～2時間	1時間未満	していない
この授業にあてた予習・復習の勉強時間はどれくらいですか	9	20	43	29

(1) 2022 年度前期授業評価アンケート結果の概要

学生自身の到達目標や成績評価基準の理解度は、2021 年度後期とはほぼ同じでしたが、2021 年度前期からは大幅に上昇しています。これは、2021 年度前期が WEB 授業中心だったため、到達目標や成績評価基準の理解が進まなかったものと考えています。2021 年度後期以降、7 割以上の学生が到達目標や成績評価基準をよく理解しているという結果になっています。本学では、シラバスに到達目標と成績評価基準を記載するだけでなく、第 1 回目の授業時に学生にしていねいに説明することを徹底しています。それでも 3～5%の学生が理解していないため、担任との面談時に確認し、さらに徹底させていきます。

授業科目についての評価はおおむね高いものとなっており、個別の授業でもとりわけ問題となるような結果はありませんでした。下記に記したように、本学では授業評価アンケートを資料として普段の授業改善に取り組んでおり、その結果が現れていると考えます。しかし、「講義にメリハリをつけ、学生の集中力が続くよう工夫されましたか」という質問項目に対する回答が、他の項目への回答と比較して若干低くなっています。90 分という長い授業時間集中できるよう、取り組み事例を共有するなど、FD 活動を通してさらに努力していきます。

(2) 授業評価アンケートの活用

本学では、授業評価アンケート実施後、授業ごとに集計し授業担当者に渡しています。授業担当者は、専任教員、非常勤講師ともに、アンケート結果を読み、次期に向けた授業改善計画を立てています。この授業評価アンケート結果、授業改善計画ともに、学生、教職員に公開されています。

また、基準を設けて、この基準に満たない教員に対しては学長と教務委員長が面談を行い、別途、個別項目と期限を設けた改善計画を立て、半期ごとに点検・評価することとなっています。なお、2022 年度前期、基準に満たなかった教員はいませんでした。